

みなさまのご支援をお待ちしております

会員募集

気象キャスターネットワーク（WCN）は、「気象・環境・防災」をテーマに、全国の気象キャスターや気象予報士、気象や環境に関心のある方が集まり、啓発活動を行っています。

あなたも地球環境のメッセンジャーとして、WCNの活動に参加してみませんか？気象キャスターの方、気象キャスターを目指している方、気象の仕事に関心のある方、気象や環境の知識を増やしたい方のご参加をお待ちしております。

<https://www.weathercaster.jp/about/enter/>

講演のお問い合わせ

気象や防災・環境に関する様々なテーマで講演致します。一般の方々向けだけではなく、企業研修などにも対応致します。また短時間で端的に天気予報を伝える必要がある、気象キャスターならではのプレゼンテーションのノウハウや話し方などに関する講演・研修も承りますので、ぜひ一度お問い合わせください。

<http://www.weathercaster.jp/general/kouen/>

特定非営利活動法人 気象キャスターネットワーク

2020年 活動報告書



2021年2月21日

理事

南 利幸 井田 寛子 岩永 哲
鈴木 智恵 波田 健一 寺川 奈津美
奈良岡 希実子 渡部 圭吾 浦野 浩（監事）

事務局スタッフ

水越 祐一 杉村 友希 名倉 直美 中野 沙織

NPO法人気象キャスターネットワーク
〒110-0002
東京都台東区上野桜木1-14-21
高遠レジデンス上野桜木202号
TEL 03-5832-9401
FAX 03-5832-9402
MAIL wcn-info@weathercaster.jp

ACTIVITY REPORT 2020-2021

2020年度活動報告書
2021年2月発行

Contents

P.01 理事長からのメッセージ

P.02 WCNの活動概要

P.03 WCN NEWS 2020-2021

P.03 Topic 1
WCNの目玉事業
高まる意義

P.04 Topic 2
オンライン授業
新たな可能性

P.05 Topic 3
2020オンライン勉強会

P.06 Topic 4
YouTubeチャンネル
絶賛稼働中

P.06 WCN information

表紙写真 / 名倉直美
デザイン・制作 / WCN事務局

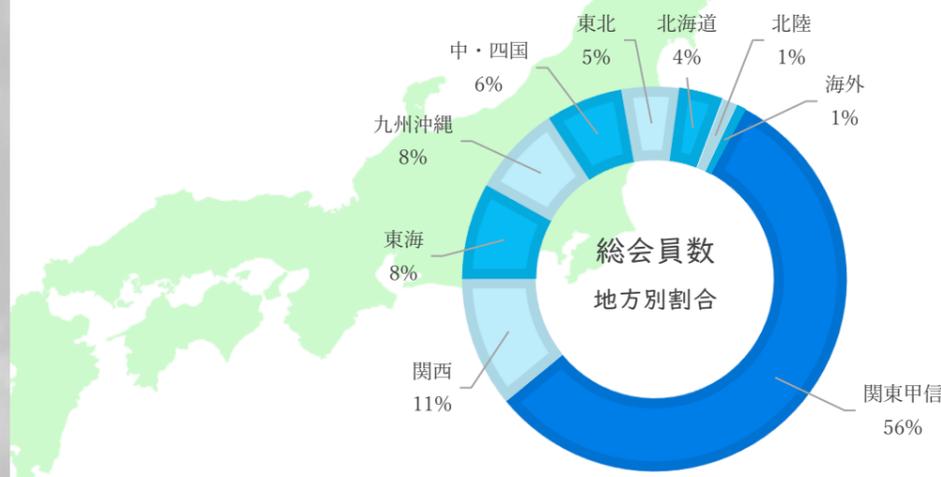
気象キャスターネットワーク会員数

気象予報士としての知識に加え、アナウンスやコミュニケーション能力を兼ね備えた気象キャスターは、理想的な環境、気象、防災教育の講師であると考えています。

わたしたちは、地球を担う子どもたちへの“メッセンジャー”として、社会貢献していきます。

総会員数	247名
正会員	141名
一般会員	98名
学生会員	8名
賛助会員	2社

(2020年12月末現在)



受賞歴

- 2004年12月 地球温暖化防止環境大臣表彰受賞
- 2006年6月 東京都環境賞知事賞
- 2007年11月 パートナーシップ大賞 (パートナーシップ・サポートセンター)
- 2008年2月 資源エネルギー庁長官賞 (新エネルギー財団 「省エネ大賞」の優秀普及啓発活動部門)
- 2008年3月 資源エネルギー庁長官賞 (エネルギー環境教育情報センター)
- 2008年9月 オゾン層保護・地球温暖化防止大賞 (審査員特別賞)
- 2008年12月 地球温暖化防止活動環境大臣表彰 (シャープ株式会社との協働による全国学校出前授業)
- 2009年 気象庁長官賞
- 2009年 グリーン購入大賞
- 2009年 エネルギー教育特別奨励賞
- 2010年 地球環境大賞文部科学大臣賞
- 2011年 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰「文部科学大臣賞」
- 2019年12月 生物多様性アクション大賞 審査委員賞
- 2020年 国土交通大臣表彰「第145回 気象記念日」

理事長からのメッセージ

今まで経験したことがない

気象災害が発生した後、長年住んでいる地元の方にインタビューすると「今まで経験をしたことがありませんでした」と答えが返ってくるのがよくあります。

二〇二〇年度は今まで経験したことが無いことばかりでした。新年度が始まった途端、緊急事態宣言が発表され、街中は閑散とし、天気予報もオンラインで対応された方もいらっしゃったのではないのでしょうか。一月には再び緊急事態宣言が発表され、放送局からの出演料に依存している気象キャスターにとっては厳しい時代になりつつあります。

気象においては七月には梅雨前線の活動が活発になり、球磨川流域では今まで経験したことが無い豪雨に見舞われました。コロナ禍での避難の難しさやボランティア活動の難しさも今まで経験をしたことがありませんでした。

八月は記録的な猛暑となり、浜松では観測史上第一位の「四十一・一度」まで上がり、経験したことが無い暑さとなり、二〇二〇年の年平均気温も多くの所で観

測史上第一位になりました。

年末年始は一転して厳しい寒さとなり、日本海側は経験したことが無い大雪に見舞われ、四十八時間の降雪量などが観測史上第一位となった所もありました。

気象キャスターネットワークにとっても経験をしたことが無い一年となり、当会の活動の軸でもある出前授業や講演が激減し、小中学生や市民の方々と触れ合う機会が無くなってしまいました。

ただ、現状に手をこまねいているのではなく、事務局の努力で年度の後半からはオンラインでの出前授業を始めることができ、会員の皆様に向けた勉強会もオンラインで定期的開催することができるようになりました。遠方の方も参加できる新たな形式を整えることができました。

二〇二一年度はさらに「今まで経験をしたことが無い」ことにも挑戦し、時代に即し求められる形で、当会の理念を貫きたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、今後ともご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



理事長：南 利幸
気象予報士・防災士・技術士（応用理学）
株式会社南気象予報士事務所 代表取締役

四姉妹の父親です。ただいま子育て真っ最中。
子供たちにより良い環境を残すために、温暖化による身の回りの変化を調べ、それを伝えて、多くの人に感じてもらうことに専心しております。

WCN NEWS

2020-2021

Topic 1

WCNの 目玉事業 学校出前授業

高まる意義

気象キャスターネットワークでは、気象や環境、防災などに関する出前授業を毎年、全国各地の小・中学校、幼稚園などで実施しています。

二〇二〇年は、新型コロナウイルスの影響により昨年より大幅に減ってしまいましたが、企業様、団体様のご協力をいただきながら、一年間に合わせて七十一回の出前授業を実施することが出来ました。

防災に関する出前授業「空の教室」
空のメッセージをきいて、自然災害か

小学校では地球温暖化の原因、影響、対策について実験やクイズを交えて伝えていきます。

中学校では五十分の授業二時限分で、前半が座学と実験、そして後半はアクティブラーニングで、未来の地球にできることをグループで考えていきます。

出前授業の実施校を募集する前から、以前実施した学校から「今年も実施しますか？」と問い合わせをいただくようになり、出前授業の意義が益々高まっているように感じます。感染症対策を取りながら、安全に実施できる方法を模索していきたくと考えています。



訪問型の出前授業ならではの子どもたちの熱気を肌感じます

「身を守ろう」(公益財団法人河川財団河川基金助成)を、二〇二〇年は小学校で一三回の授業を実施しました。

この授業では、一時限目に天気予報の見方、雨の降り方、豪雨・竜巻についてなどを、実験やクイズとともに学びます。

二時限目は防災ワークショップとして、台風や集中豪雨から身を守るためにはどうするか、ワークショップ形式で学びます。また地球温暖化に関する出前授業、地球温暖化の最新情報「未来の地球と私たちのくらし」みんなで考えよう」では、実験やクイズによってエネルギーについて知り、未来の地球のために、今私たちに何ができるのかを考えていく内容となっています。

Topic 2

オンライン授業 新たな可能性

新しい試み オンラインでの出前授業

昨今の時勢を鑑み、今年度WCNはオンラインでの出前授業を「防災出前授業」と「地球温暖化出前授業」でそれぞれ一回ずつ行いました。

初めての試みで、多くの課題が残りましたが、それ以上に新しい希望への道筋が見えてきました。

出前授業の醍醐味は、実際に多くの児童と関わることでありますが、オンラインでも丁寧な言葉を交わすことで、従来と劣らぬ「密」なやり取りを児童たちと交わすことが可能だと確信が持てたのです。



教室の児童の様子を見ながら、授業を進めます

活動名	実施地域	2020年実施数
地球温暖化防止コミュニケーターによる小学校・中学校環境出前授業	全国各地	33回
河川防災の小学校出前授業	全国各地	13回
台東区学びのキャンパスプランニング(台東区 委託)	東京都台東区	5回
地球温暖化防止コミュニケーターによる小・中学校環境出前授業(足立区 委託)	東京都足立区	8回
フロン授業(ダイキン協賛)	関東	4回
自主事業による出前授業(減災プロジェクト)	全国各地	8回
合計		71回 (2020年度40回)



大型のディスプレイを用いて、オンライン出前授業を行っている様子

例年ですと出前授業の申し込みが全国的に大きくばらつきがちで、なかなか皆様に均等に講師依頼ができませんでしたが、オンライン授業のブラッシュアップが進めば、都市部ではない地域でも活発に活動していただけるはずです。

そうならば従来の訪問型の出前授業に勝るとも劣らない当会の目玉授業になるでしょう。学校側から感染症対策という消極的な選択ではなく、オンライン授業ならではのメリットを感じてもらえるよう、さらなる魅力的な内容と普及に努めたいと思いを新たにしました。

Topic 4

YouTube
チャンネル
絶賛稼働中



チャンネル登録よろしくお願ひします！

QRコードで直接気象キャスターネットワークのページへアクセスできます



information

気象キャスターネットワークでは、熱中症情報や乾燥情報など生活に役立つ情報を発信しています。

熱中症予防情報（大塚製薬株式会社協働）では、暑さ指数（WBGT）を使い、気温だけでなく湿度などを加味した熱中症の危険度を予測しています。スマートフォン向けページではGPS機能で所在地の暑さ指数を手軽に表示できる形となっています。

生活乾燥情報（大塚製薬株式会社協働）では、暖房した室内の乾燥度が分かる室内乾燥指数（IDI）を予測しています。

春には独自の「さくら開花予想」を発表しています。また会員の皆様にお役立ていただける気象情報閲覧ページも開設しています。



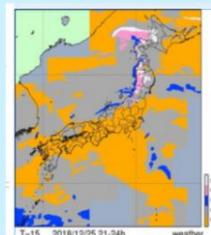
熱中症予防情報（大塚製薬株式会社協働）



生活乾燥情報（大塚製薬株式会社協働）



さくら開花予想



会員専用ページ MSMガイダンス

Topic 3

2020
オンライン
勉強会

気象キャスターネットワークでは、例年会員の方が気象・防災・環境に関する最新の情報・知識を学ぶことができる講座・研修会・見学会を実施しています。二〇二〇年は総会にて二〇一九年の台風について気象研究所の和田章義さんと国土交通省の平山大輔さんにご講演いただきました。その後はコロナの影響により、対面で実施することが難しくなったため、オンラインでの勉強会を行いました。気象研究所の報道発表の「過去四十年で太平洋側に接近する台風が増えている」 「令和元年東日本台風に伴う竜巻の発生メカニズムを解明しました〜フェーズドアレイ気象レーダーによる観測データを解析〜」、「地球温暖化が近年の日

「マイ・タイムライン」ワークショップ講師研修会の様子



本の豪雨に与えた影響を評価しました」など、最新の知見について研究者の方々が発表してください、知識を深めることが出来ました。また、気象庁、環境省、国土交通省、水資源機構などから情報提供や意見交換会も実施しました。オンラインでの実施について不慣れな点もありましたが、地方から、自宅からでも参加できると評価をいただきましたので、更にブラッシュアップ出来るよう精進していく所存です。

2020年実施講座一覧 ◎印のついた講演はオンラインにて実施されたものです

- 2月 2019年台風を振り返って〜気象研究所における事例解析結果の紹介
気象庁 気象研究所：和田 章義
台風19号における国交省の対応と今後の河川情報のあり方
国土交通省 水管理・国土保全局：平山 大輔
- 6月 ◎第3回 中国地方災害情報報道研究会
中国地方整備局河川部
◎第2回「マイ・タイムライン」ワークショップ講師研修会
主催：河川情報センター 協力：国土交通省
熱中症アラートについて（HP掲載）
資料提供：気象庁・環境省会員
- 8月 ◎ダムの事前放流について
水資源機構関西
◎ WCN気象ページの使用方法について
気象キャスターネットワーク：藤富 郷
- 9月 ◎「過去40年で太平洋側に接近する台風が増えている」について
気象庁 気象研究所：山口宗彦
- 10月 ◎今年の梅雨と夏の振り返りと台風
中国地方整備局河川部・WCN共催 部田調査係長（広島地方気象台）
- 11月 ◎「令和元年東日本台風に伴う竜巻の発生メカニズムを解明しました〜フェーズドアレイ気象レーダーによる観測データを解析〜」について
気象庁 気象研究所：足立透
- 12月 ◎「地球温暖化が近年の日本の豪雨に与えた影響を評価しました」
気象庁 気象研究所：今田 由紀子
◎今年度の出水期振り返り、大雪のメカニズムなど
気象庁・国交省